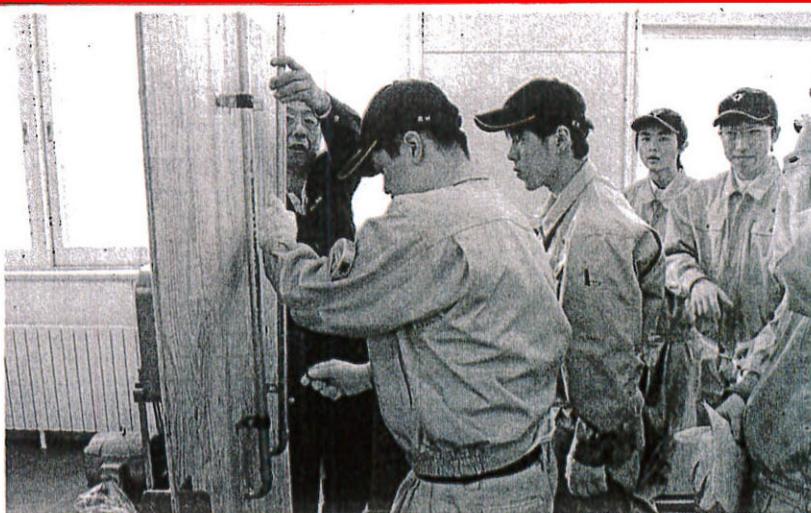


# 配管工の魅力知つて

帯広空調衛生協 初の学生現場体験



協会員の指導を受けて、施工体験を行う生徒ら

帯広空調衛生工事業協会（西藤博行会長、19社）は20日、帯広工業高校で、同校電子機械科の2年生を対象に業界説明会を開き、配管設備の施工を体験してもらった。これまで現場見学会は行ってきたが、実際の業務内容を手ほどぎする場を設けるのは初めて。仕事のやりがいを知つてもらい、人材確保につなげるのが目的だ。

同校電子機械科の設備システムコースは、地域からの要望を受けて1997年に開設されている。開設経緯を踏まえ、協会では記事内容を知つてもらうため、同校1年生を招いた現場見学会を行つてきた。

一方 地元の協会加盟社

水本楓也さん（16）は「教えてもらひながら作業ができ、仕事のイメージを持つことができた。就職の選択肢として、こういった業界も考えたい」と話した。

に就職する生徒は少なく、進路選択を控えた2年生は対象に、仕事内容を体験してもらおうと新たに説明会を企画した。協会側は「災害が多発する中、担い手確保は地域を守ることにもなる」とする。

この日は生徒39人が参加

し、協会技術委員会の9人

が説明に当たつた。

業界の仕事に関する講話

に続き、生徒たちは実際に

図面を書く作業を体験。

午後からは生徒がグループに

分かれ、図面に基づきデモ

ンストレーション用のパネ

ルに配管を施工した。生徒

はスケールで取り付け位置

を決める「墨出し」から、

実際に蛇口を取り付ける作

業までを行つた。

ガイダンスは次年度以降でもらい、業界に入る人が続する方針。西藤会長は「仕事をやりがいを知つた。

（中島佑斗）